

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A0770-0001

報告書提出
事業者名

タゲンファースト株式会社

事業所名

田源ビル

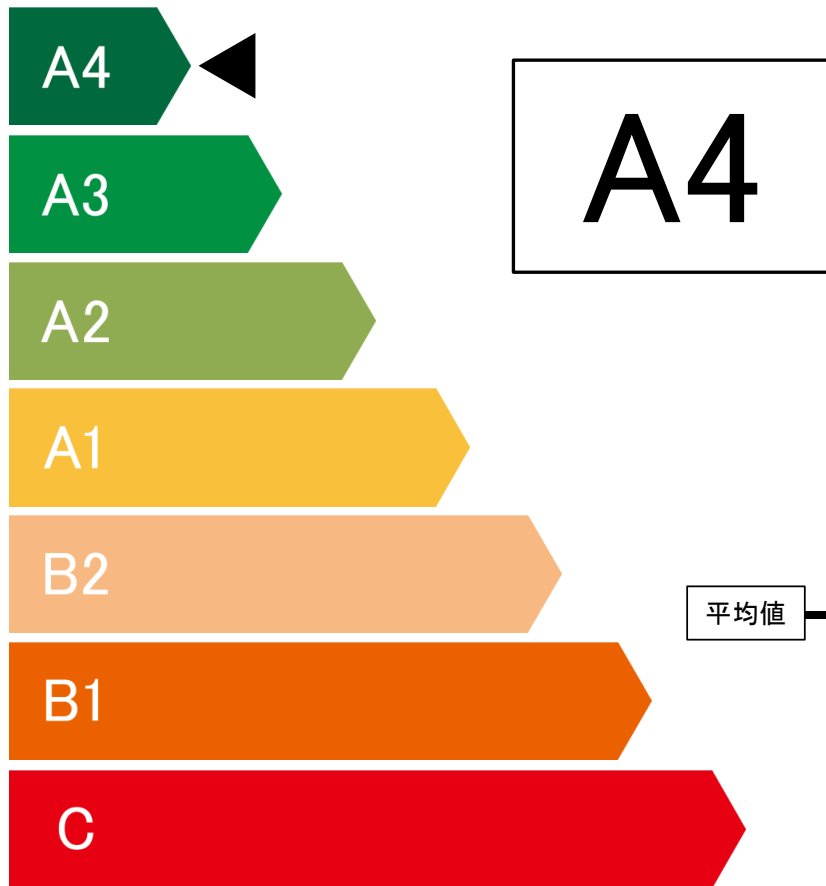
住所

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2013 年	123 t	5362.00 m ²	22.9 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



ベンチマーク レンジ	CO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /m ²)の範囲
A4	～ 32.9
A3+	32.9 ～ 35.9
A3	35.9 ～ 38.9
A3-	38.9 ～ 41.8
A2+	41.8 ～ 44.8
A2	44.8 ～ 47.8
A2-	47.8 ～ 50.8
A1+	50.8 ～ 53.8
A1	53.8 ～ 56.8
A1-	56.8 ～ 59.7
B2+	59.7 ～ 62.7
B2	62.7 ～ 65.7
B2-	65.7 ～ 68.7
B1	68.7 ～ 89.6
C	89.6 ～

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準 (CO₂排出原単位の水準) を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標 (ベンチマーク) 解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組 織 体 制 の 整 備	温暖化対策推進担当の配置	所内の温室効果ガス排出量を集計
	具体的な取組目標と内容の設定	テナントへの温暖化対策協力依頼
	テナントにエネルギー使用量提供	
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	エネルギー使用量の前年度比較	
運 用 対 策	空室・不在時等のこまめな消灯	照明スイッチに点灯範囲を表示
	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	便座ヒーター等温度の季節別設定
	空室・不在時等の空調停止	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	事務用機器を省エネモードに設定	
	共用部照明のフロアごとの管理	
	フロア共用部の温度の把握・設定	
	共用部のフロアごとの空調の管理	
設 備 保 守 対 策	ランプ等の定期的な清掃・交換	その他設備の定期的な保守・点検
	空調フィルターの清掃・点検	
設 備 導 入 対 策	高効率照明ランプの採用(屋内)	高輝度誘導灯の導入
	高効率照明器具の採用(屋内)	
	高効率パッケージの採用	

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

■建物案内 竣工年月:1974年6月 建物構造:SRC造 地上9階地下1階
 フロア構成:地下駐車場、事務所、店舗(展示場、ショールームなど)
 ■省エネ改修等
 ・高効率空調パッケージへの更新
 ・LED照明への更新を実施

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。